

2014年9月11日

公益財団法人 日本サッカー協会
2014年度 第9回理事会

協議事項

<p>1. 基本規程及び懲罰規程改正の件</p> <p>(協議) 資料No. 1 ①②</p> <p><概要></p> <p>第3種加盟チームの元代表が選手に暴力を加えているということが暴力相談窓口に寄せられ、その証拠の映像が送られてくるという案件があった。本件を裁定委員会にて審議したが、現行の基本規程及び懲罰規程では当該する元代表に対して懲罰を科すことができないため、上記案件を踏まえて裁定委員会から本協会に対し、以下の提言がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本協会加盟チームの代表者・監督等に対して本協会が懲罰権を行使できるよう明文規定（登録規定）を置く。 ・違反行為時に本協会に登録されていた個人及び加盟チームで、その後登録を抹消した場合でも、本協会が懲罰権を行使できるよう明文規定を置く。 <p>裁定委員会からの上記の提言を踏まえて法務委員会で検討した結果、以下のとおり基本規程及び懲罰規程を改正することとしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表者、監督の登録義務を明確化し、本協会に懲罰権があることを明確にする。 ・違反行為時に遡及して本協会が懲罰権を有することを明確にする。 <p>施行日：2014年9月11日（本理事会承認後）</p>
<p>2. 技術委員長（強化担当） 選任の件</p> <p>(協議) 資料No. 2</p> <p>技術委員長（強化担当）として、以下の通り霜田技術委員を選任したい。</p> <p>氏名：霜田 正浩（シモダ マサヒロ）</p> <p>生年月日：1967年2月10日（47歳）</p> <p>職務分掌：技術委員会委員長（強化担当）</p> <p>契約期間：2014年9月11日から選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の集結の時まで（2016年3月予定）</p>
<p>3. 特任理事 選任の件</p> <p>第2号議案の承認に伴い、霜田氏を特任理事に選任したい。</p> <p>氏名：霜田 正浩（シモダ マサヒロ）</p> <p>任期：2014年9月11日から選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の集結の時まで（2016年3月予定）</p>
<p>4. ユニバーシアード日本女子代表のナショナルコーチングスタッフ及び選手選考の件</p> <p>(協議) 資料No.3</p> <p>ユニバーシアード日本女子代表のナショナルコーチングスタッフ及び選手選考について、以下の通りとしたい。</p>

<p>(1) コーチングスタッフ 監督：望月 聡 (モチヅキ サトル) 期間：2015 ユニバーシアード光州大会 (2015年7月3日～14日予定) 終了まで。 ・プロフィールは別紙参照。 ・他のコーチングスタッフについては、全日本大学女子サッカー連盟の推薦を受け、女子委員会にて協議する。</p> <p>(2) 選手選考 選考対象： 全日本大学女子サッカー連盟所属の選手とする 理由： 従来、ユニバーシアード日本女子代表選手の選考対象は日本女子サッカーリーグ加盟クラブ所属の選手も含まれていたが、大学女子サッカーの強化のため、2015年大会より全日本大学女子サッカー連盟所属の選手に限ることとしたい。また、これにより全日本大学女子サッカー連盟の強化組織の充実を図る。</p>
<p>5. 日本人アスレティック・トレーナー海外派遣の件</p>
<p>(協議) 資料No.4</p> <p>ベトナムサッカー連盟 (V F F) からの要請を受け、アジア貢献事業の一環として下記のアスレティック・トレーナーを下記の期間、派遣することとしたい。</p> <p>派遣指導者： 藤本 栄雄 (フジモト ヒロオ) (34歳) 派遣先協会： ベトナムサッカー連盟 (V F F) 役 職： ベトナム代表チームアスレティック・トレーナー 契約期間： 2014年9月28日～12月20日 (A F F スズキカップ 2014 終了時まで) 費用負担： [J F A] 給与の一部 及び 傷害保険料 [V F F] 給与の一部、住居、国内移動車両、往復航空運賃 略 歴： 添付別紙のとおり 背景及び実施理由： J F A の紹介により本年5月に三浦俊也氏がベトナム代表監督に就任した。同監督の希望もあり、11月22日から12月20日にわたって開催される A F F スズキカップ 2014 に向け、代表チームのアスレティック・トレーナーの派遣を V F F より要請された。 本年7月11日に J F A と V F F はパートナーシップ契約を締結していること、またアセアンではトップグループにランクされる代表チームで初めて日本人監督が指揮を執るもので、その成功をサポートする意味でもアスレティック・トレーナーを派遣したい。</p>
<p>6. 2015年AFCマッチコミッショナー新規候補者推薦の件</p>
<p>2015年AFCマッチコミッショナー (マッチコミッショナーは以下「MC」と表記) に、新規候補者として下記の1名をAFCに推薦したい。</p> <p><新規候補者> 大矢 丈之 (オオヤ タケユキ) Jリーグ競技・事業統括本部 事業部 アシスタントチーフ</p> <p><新規候補者の選定について> J F A、Jリーグ、及び、サッカーファミリーの中から、将来的にサッカー界の国際分野において活躍する人物として適任と思われる者をAFCに推薦する。</p>

<新規候補者のAFCによる認定手順>

新規候補者：

AFCが加盟協会から推薦された新規者を適任であると判断した場合、AFC MCセミナーに出席する。セミナーは3日間行われ（2014年12月日時未決定、於AFC、マレーシア、クアラルンプール）、英語、ITスキル、及び、AFC競技会の理解度等のテストを受け、結果合格した候補者がAFC MCとして認定され、2015年から2016年の2年間の資格を与えられる。

継続AFC MC [参考] (50音順) (資格期間)

青木 克史	コミュニケーション部部長代理	(2014年～2015年)
江川 純子	国際部部長代理	(2014年～2015年)
大谷 憲也	PHQ係長	(2014年～2015年)
貝瀬 智洋	財務部部長代理	(2014年～2015年)
小林 美由紀	JEFユナイテッド市原千葉レディースU18 コーチ	(2014年～2015年)
東明 有美	AFC社会貢献委員会委員、JFA国際委員	(2014年～2015年)
野上 宏志	マーケティング部部長代理	(2014年～2015年) *更新予定
宮崎 純一	青山学院大学サッカー部監督	(2014年～2015年)

<継続候補者のAFCによる認定手順>

2014年よりAFC MCの継続認定が厳しくなり、過去2年間に任務を遂行した試合数が6試合未満の者、その他、AFCが定める条件を満たさない場合、新規候補者と同様の英語、AFC競技会の理解度等のテストを受ける。

7. JFA マッチコミッショナー追加の件

JFA マッチコミッショナーを以下の通り追加したい。

滝川 昌毅 (タキガワ マサキ) /フットサル担当/山形県サッカー協会 フットサル委員長
 認定期間：理事会承認の日から2015年1月末まで

滝川氏は、日本フットサル連盟のフリーグマッチコミッショナー委員会において検討された後、競技会委員会において認定され、条件を満たしている。

8. 委員会 委員交代及び選任の件

(1)国際委員会

国際協力機構(JICA)内の事情により、乾 英二 (イヌイ エイジ) 現国際委員から戸川正人 (トガワ マサト) 氏への国際委員交代の要請があった。

なお、新委員候補者 戸川正人氏の略歴は、添付別紙の通り。

(協議) 資料No.5

(2)殿堂委員会

2014・2015年度の殿堂委員を、以下の通り選任したい。

委員長	川淵 三郎	最高顧問
副委員長	小倉 純二	名誉会長
委員	浅見 俊雄	顧問

委員	大住 良之	フリージャーナリスト
委員	国吉 好弘	フリージャーナリスト
委員	佐々木一樹	理事
委員	佐藤 仁司	Jリーグ 競技・運営部
委員	名取 裕樹	共同通信社編集局次長
委員	原 博実	専務理事
委員	山本 浩	法政大学教授

任期 2014年9月～2016年3月（予定）

※任期2年間で2016年9月であるが、他委員会との整合性を図るため

【内規】（抜粋）

1. 殿堂委員会

①理事会で委員長を選出する（任期2年）。

②委員長が11名以内の委員を推挙し、殿堂委員会を組織し、理事会で承認を得る（任期2年）。

【基本規程】（抜粋）

第45条〔委員の任期〕

1. 各委員会の委員長及び委員の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

9. JFA 国際ユースサッカー大会(仮称)の件

2002年に開催されたFIFAワールドカップの記念事業の一環として、全国各地で開催されてきた国際ユース大会が記念事業基金の終了と折からの経済不況の影響で廃止に至るケースが出てきている。現在、存続している大会も自治体の予算削減や企業の経営状況によっては同様に廃止される可能性があり、将来的に日本国内における国際的なユース育成の場が消滅してしまうことが懸念される。

については、経済状況に左右されないJFAが主催する国際ユース大会を設立し、永続的なユース代表強化の一助としたい。

1. 目的

- 1) タレント育成、国際経験の機会醸成
- 2) 日本代表チームの強化
- 3) ユース年代の国際交流
- 4) 開催地のスポーツ文化振興
- 5) 招待チームの協会/連盟との関係構築

2. 概要

育成年代の海外有力チームを日本に招待して、JFA主催の国際大会を開催する。

- 1) 対象年代=U16（2014年4月4日の技術委員会での協議の結果）
- 2) 大会形式=4チーム総当り戦（日本チーム+海外招待3チーム）

3. 基本構想

JFAが大会予算を担保しつつ、開催地からの協力(人的支援、施設使用料減免措置、大会PR等)を得ることで、経済状況に左右されない安定した開催基盤を整えると同時に、地元還元メリット(経済効果等※)が醸成される形で大会運営を継続していきたい。

※（例）「モンテギュー国際大会」「トゥーロン国際大会」のように、大会名の一部に開催自治体等の呼称を入れる権利を付与するなど（大会マーケティング権は今後調整）。

4. 第1回大会概要

大会名称：JFA 国際ユースサッカー大会（仮称）

主 催：公益財団法人日本サッカー協会

主 管：一般社団法人大阪府サッカー協会

会 場：J-GREEN 堺（メインフィールド）、キンチョウスタジアム(予定)※

開催時期：2015年6月24日(水)～28日(日)（6/22 来日、6/29 離日）

宿泊場所：J-GREEN 堺 ドリームキャンプ

大会方式：総当たりによるリーグ戦

※以下の点を鑑み、第1回大会はJ-GREEN 堺およびキンチョウスタジアム(予定)をベースに開催することとしたい。（第2回大会以降の開催地は未定）

- ・ナショナルトレーニングセンターの有効活用
- ・国際空港（関西国際空港）への良好なアクセス
- ・豊富なユース大会運営実績によるコンパクトかつ効率的な安定した大会運営の実現

5. 大会開催予算

概算試算では約 55,000 千円を見込んでいる。

※助成金や協賛金により大会開催費負担の軽減を図る予定。